

みんなのエネルギーと未来

CCNEの「原発ゼロ社会へのみち—新しい公論形成のための中間報告」とみんなの意見交換会

2013年11月24日(日)

17時～19時半 (16:30 開場)

【ところ】 広島市まちづくり市民交流プラザ

北棟5階 研修室B

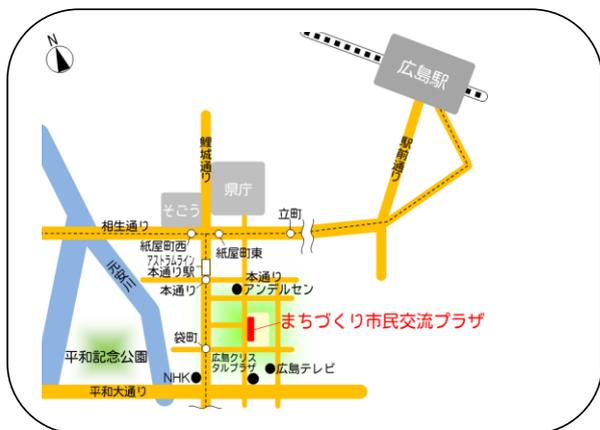
【入場料 無料】

『原発ゼロ社会への道—

新しい公論形成のための中間報告』冊子1部配布

【共催】 原子力市民委員会(略称 CCNE) /
みんなのエネルギーと未来ひろしま実行委員会

会場のご案内



広島駅・バスセンターより路線バス「袋町」
または①広電路面電車「袋町」より徒歩4分

○会場は袋町小学校と併設の建物の北棟です。入口は、袋町小学校平和資料館と地下駐車場の間です。駐車場がないので、公共交通機関をご利用ください。

みんなの意見交換会に関するお問い合わせ・
参加お申込み okihideo@hotmail.com
090-4658-3312 (沖横田)



■原子力市民委員会(CCNE)って? ➡ (裏面をご覧ください。) <http://www.ccnejapan.com/>

2つの目的 ○脱原発社会づくりのために必要な情報収集・分析・発信を行う市民のシンクタンクを作る。
○脱原発社会づくりについて幅広い意見をもつ人々による議論ができる「場」をつくる。

プログラム

16:30 受付

17:00 はじめに (実行委員会あいさつ、
原子力市民委員会のご紹介)

17:10 中間報告について

報告者

(1) 細川 弘明 (ほそかわ こうめい)

(京都精華大学人文学部教授 / 原子力市民委員会事務局・福島原発事故部会コーディネーター)

(2) 松原 弘直 (まつばら ひろなお)

(特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 主席
研究員 / 原子力市民委員会 原発ゼロ行程部会
コーディネーター)

17:50 休憩 (質問メモ回収)

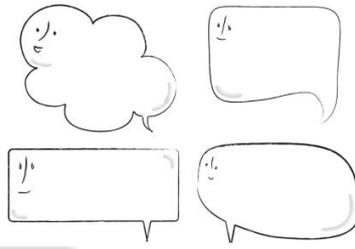
18:05 質疑応答

18:30 意見交換

19:15 まとめ

19:30 閉会





原発ゼロ社会への道

新しい公論形成のための
中間報告



2013年10月
原子力市民委員会

■原子力市民委員会って？

原子力市民委員会（CCNE）は、2011年3月の東日本大震災による福島原発事故を受け、脱原発社会づくりのために必要な情報の収集、分析および政策提言を行う市民シンクタンクを目ざして、2013年4月15日に設立されました。

2014年春をめどに「脱原子力政策大綱（第一次）」を政策提言として発表する予定です。その「中間報告」が10月7日に発表されました。（その中間報告は下記リンクからもダウンロードできます。：http://www.ccnejapan.com/?page_id=1661）

（原子力市民委員会より）

■広島のみなさま意見交換会にぜひおこしください！

来春までに「脱原子力政策大綱」をまとめていくにあたり、この中間報告を「たたき台」として、各地で幅広い方々との意見交換会を行い、新しい公論形成につなげていきたいと考えています。参加者のみなさんには原子力利用の賛否、原子力やエネルギー政策に関する専門知識の有無などは問いません。ぜひ率直なご意見をおうかがいし、お互いにこの問題への理解を深めていければと思います。（☆なお、本意見交換会で提出されたご意見は記録し、原子力市民委員会のメンバー全体に共有し、脱原子力政策大綱をとりまとめる過程で参考にしていく予定です。ご意見は個人情報を除いた上で、公開させていただくことがあります。あらかじめ、ご了承ください。）

中間報告のもくじ

序章

はじめに

- 0-1 福島原発事故による被害の深刻さ
- 0-2 原発ゼロ社会を実現すべき理由
- 0-3 脱原発政策実現のための政治的条件
- 0-4 脱原子力政策大綱をどのような方法で作成するか

第1章 福島原発事故の被害の全容と「人間の復興」

- 1-1 福島原発事故の実態と未解明課題
- 1-2 被害の全貌と本質
- 1-3 広域汚染の全容と対応策
- 1-4 健康を守る —— 「被ばくを避ける権利」の保障
- 1-5 農業・漁業の再建と食の安全
- 1-6 生活と地域の再建のための支援
- 1-7 損害賠償のあり方
- 1-8 除染と廃棄物政策
- 1-9 作業員の健康管理と被ばくの低減

第2章 放射性廃棄物の処理・処分

- 2-1 議論と合意のための「場」の形成
- 2-2 福島第一原発の事故炉処理、事故廃棄物の処理・処分政策
- 2-3 核燃料再処理政策の転換
- 2-4 使用済み核燃料のリスク低減政策
- 2-5 プルトニウム処理・処分政策（プルーサーマル政策を含む）
- 2-6 高レベル放射性廃棄物の最終処分

第3章 原発ゼロを実現する行程

- 3-1 原発ゼロを実現するための基本的アウトライン
- 3-2 原子力損害賠償制度の見直し
- 3-3 持続可能な社会を実現するエネルギーシステムへの転換
- 3-4 電力需給・経済影響などの緩和措置
- 3-5 廃炉プロセスと電力会社などの経営問題
- 3-6 原発ゼロの国民的合意形成プロセスのあり方
- 3-7 原発輸出と国際的責任

第4章 原子力規制はどうあるべきか

- 4-1 安全はいかにして実現可能か — 規制の役割と限界 —
- 4-2 新規制基準の構成上の欠陥
- 4-3 規制基準における耐震性をめぐる問題点
- 4-4 立地評価を適用しないことの重大性
- 4-5 設計基準を見直すべきである
- 4-6 新規制基準の過酷事故対策では事故の進展を防げない
- 4-7 信頼性に関わる重要な技術課題の欠落
- 4-8 原発立地・再稼働について同意を求めべき自治体の範囲と防災対策の問題点
- 4-9 老朽化原発の20年延長問題
- 4-10 原子力規制と司法審査

おわりに

原子力市民委員会

Citizens' Commission on Nuclear Energy

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21 戸田ビル 4F(高木仁三郎市民科学基金内)
TEL/FAX:03-3358-7064 Eメール: email@ccnejapan.com
ホームページ <http://www.ccnejapan.com>

もっと話そうー市民みんなの意見交換会ー
みんなのエネルギーと未来
ひろしま実行委員会

